

足踏み式手織り機にチャレンジ NPO 法人駿河裂織倶楽

NPO 法人駿河裂織倶楽部は、今は絶えてしまった蒲原伝統の裂織を再興し次の時代に伝えてゆくことを目的に、多くの人に参加してくれることを願い設立された団体で、東海道蒲原宿の旅籠として今も残る旧和泉屋「お休み処」を拠点に活動をしています。



布を裂くのも根気が必要



法人代表 朝原智子さん

駿河湾に面した蒲原ならではの織物 「裂織」

駿河裂織とは駿河湾から吹いてくる風を利用し布をしっとりとさせてから細く裂き、その布と一本の細い毛糸をいれて織ります。

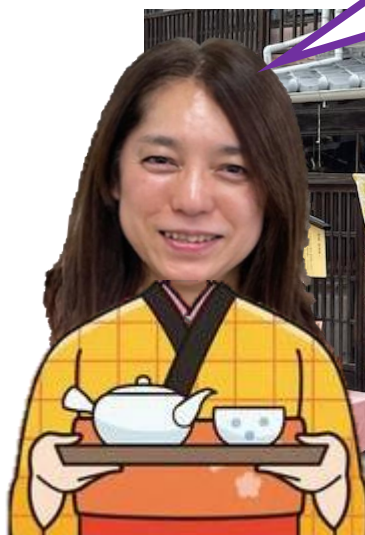
現在一般に出回っている硬くて使いにくいものとは違いやわらかくて丈夫な織物になります。



蒲原のまちなみを歩くと
江戸時代にタイムスリップ
したような気がします。
こんな茶店で一休みしたのかも～
安田

駿河裂織の特徴を伺いながら、足踏み式手織り機を挑戦させていただきました。縦糸に対して、蒲原の潮風で乾かし裂いた横糸を通し織っていくのですが、「単純作業で簡単じゃん！」と思っていたのが実際に織ってみると折り返しや糸の張り具合で、出来上がりの違いが一目瞭然!!

教えてくださった朝原通恵さんからは「初めはこんなものよ。この世に一つの手作り品。味が出ていていいわよ」と優しく声をかけてもらいました。



目印は「お休み処」の看板